

# 取扱説明書 日立制御装置専用照明器具 保管用 ペンダント

# HITACHI

Inspire the Next

HP4301-EX HP4401-EX  
HP4302-EX HP4402-EX

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

**施工説明** 工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意

### 警告

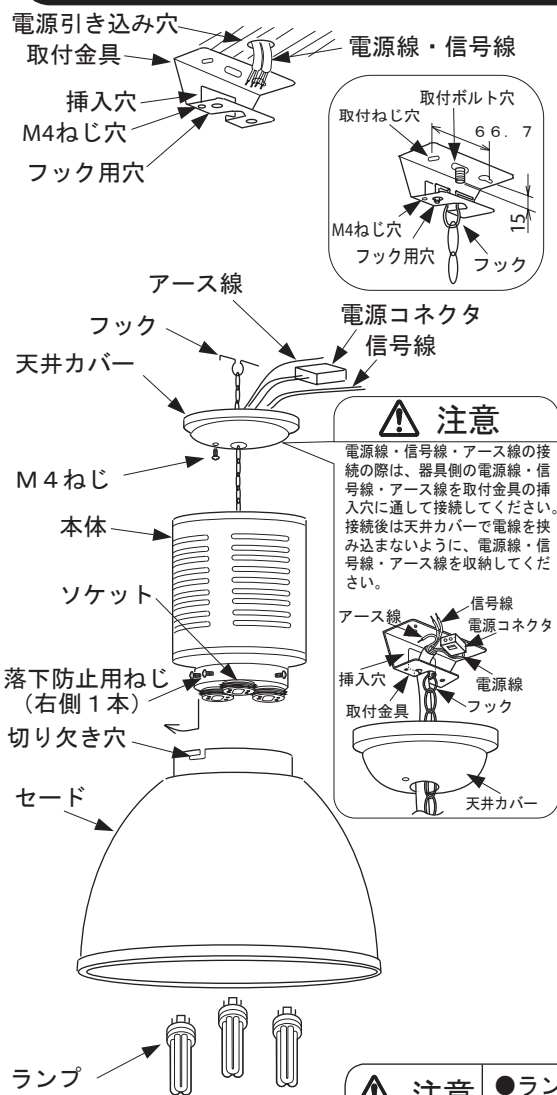
- 取付工事は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。  
取付工事に不備がありますと火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 本器具は天井取付専用です。壁や傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は、30cm以上あけてください。被照射物の火災・変色の原因となります。

### 注意

- 本器具は当社専用信号線方式の制御装置と組み合わせてご使用ください。動作不良や不点灯の原因となります。
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・風などが直接あたる場所・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となることがあります。
- 絶縁抵抗試験は、必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し、不点灯の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災・不点灯の原因となることがあります。
- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かないでください。火災の原因となります。

## 各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化しております。



1. 取り付け前の確認。  
天井に電源引き込み穴をあけ、器具質量(表1)に十分耐える取付部の強度を確保する。不備がありますと器具の落下の原因となります。  
●取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。変色やサビの原因となります。
2. セードを取り付ける。  
(1) 本体側面の落下防止用ねじ1本をはずす。  
(2) 本体のねじをセードの切り欠き穴に合わせてはめこみ、本体を回してねじを締め付ける。  
●落下防止用ねじを取り付ける。取り付けに不備がありますとセードの落下の原因となります。
3. 取付金具を取り付ける。  
取付金具を電源引き込み穴の横に、取付ボルト又は木ねじで天井面に確実に取り付ける。取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。  
●取付ボルトの出代は15mmとしてください。ボルトが出すぎると、ナットが入らなくなります。
4. フックを引っかける。  
取付金具の挿入穴からフックを挿入し、フック端部の曲げ部を取付金具のフック用穴に入れる。取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。  
●器具を落とさないようにチェーンをしっかり保持してください。
5. 電源線・信号線・アース線を接続する。  
(1) 器具側の電源線・信号線・アース線を取付金具の挿入穴に通す。  
(2) 電源線を電源コネクタにしっかりと差し込む。(線の色を合わせる。)(図1) 差し込みが不十分ですと、火災・感電の原因となります。  
●解除する場合は、マイナスドライバーで解除釘をスライドし電源線ははずす。  
(3) 信号線を結線する。  
本器具は弊社一般の制御専用照明器具と比較し、2台分の信号電流が必要です。制御装置1回路に接続可能な台数は半分(一般50台の場合は25台)となります。  
(4) アース線を結線し、D種接地工事を行う。
6. 天井カバーを取り付ける。  
●結線した電線は天井カバーと取付金具で挟み込まないように収納し、天井カバーをM4ねじで取り付ける。(M4ねじは取付金具に付いています。)  
取り付けに不備がありますと器具の落下・絶縁不良の原因となります。
7. ランプを確実に取り付け。(図2)  
取り付けに不備がありますとランプの落下の原因となります。
8. 工事完了時にランプが正常に点灯するか確認する。

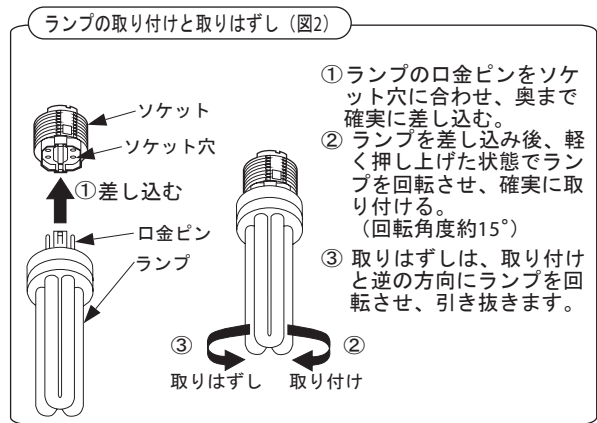
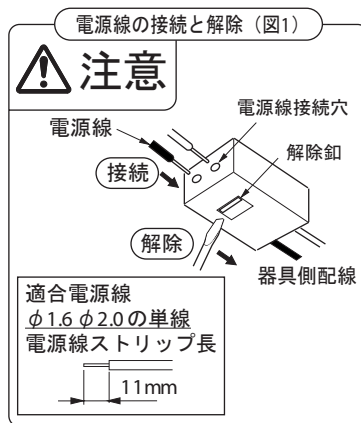
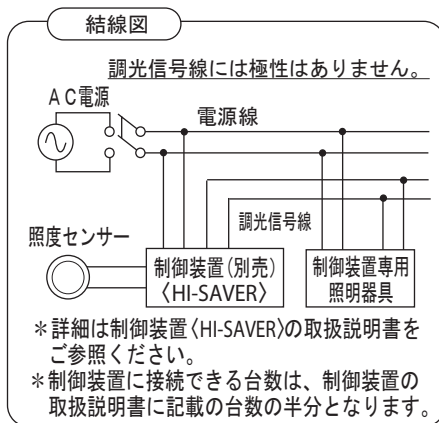
### 注意

- ランプの取り付け・取りはずしは、セードを押さえて行ってください。
- ランプのガラス部分を強く握らないでください。  
ランプが割れる恐れがあります。

例図はHP4301-EX

器具質量(表1)

| 器具形式      | 器具質量(kg) |
|-----------|----------|
| HP4301-EX | 4.1      |
| HP4401-EX | 4.3      |
| HP4302-EX | 3.2      |
| HP4402-EX | 3.4      |



## 取扱説明

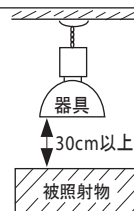
お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具と被照射物は、30cm以上あけてください。被照射物の火災・変色の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災の原因となります。
- お手入れやランプ交換は、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。



### 注意

- 器具の近くでは、温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）や燃えやすいものを使用しないで下さい。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取り外しての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。使用条件・使用環境で異なりますが、8～10年が交換の目安です。
- 電波の弱い場所（山間部・鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビ等を使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- ランプの特性上、電源投入から明るさが安定するまで数分かかる場合があります。

## お手入れ・ランプ交換

**必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。**

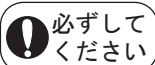
- ランプの交換時期は別売の制御装置の取扱説明書にしたがってください。（ランプ寿命を過ぎたまま使用しますと、明るさが落ちるだけでなく器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。）



禁止

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。  
また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

点灯中や消灯直後20分間は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。



必ずしてください

ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。  
汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り付けの場合は、ランプを確実に取り付けてください。  
取り付けに不備があると、落下してけが・物損の原因となります。



注意

ランプのガラス部分を強く握らないでください。  
ランプが割れる恐れがあります。

- この器具はコンパクト形蛍光ランプ専用です。ランプ交換の際には下記の適合ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・器具の破損の原因となります。
- 調光時の明るさが変わる場合がありますので日立製ランプをご使用ください。

適合ランプ [42Wコンパクト形蛍光ランプ(高周波点灯専用ランプ)]

FHT42EX

## 保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、電子安定器は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。